

▶喜びに湧き上がるアルプススタンド



ホームランで再逆転

応援席の喜びの声

赤鬼の春 41



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

1点リードで迎えた7回裏、相手の適時打で2点が入り、逆転を許した。しかしその直後の8回表、本校は主将の高内希君（2-8）の3ランホームランで一気に勝ち越しの3点を決めた。その裏に1点を返されたものの、このリードを守り切り4-3で勝利した。

7回

堀本光君（1-2）は試合について「最初は投手戦でなかなか点が入らず、このまま延長かなと思っていたが、6回表で1点取れたのでこのまま逃げ切ってほしい」と感想を述べた。チアリーダーの本庄紫朱希さん（1-2）は応援の様子を見て「今回も赤が際立っている。大きな声を出して少しでも選手の励みになったらうれしい」と微笑んだ。永井結登君（2-5）の母、貴子さんは「みんなが生き生きとしていてうれしい。最後

まで甲子園を楽しんでほしい」と笑顔を見せられた。

8回

吹奏楽部の上出珠貴さん（2-1）は野球部に向けて「良いところでホームランを打ってくれたのでうれしい。もう少しなので頑張ってほしい」とエールを送った。河瀬高校吹奏楽部部長の藤田恋風さんは「7回で2点を取られてしまったのは、自分たちの応援が足りなかったこともあると思う。自分たちの音を出せることで、少しでも選手の力になりたい」と強く意気込んだ。今井怜央君（2-7）の弟、大河君は高内君のホームランについて「一気に3点も入ってすごい。このまま1回戦を勝ち抜いて、2回戦に進んでほしい」と満面の笑みで話した。高内君の父、昌紀さんは高内君のホームランを見て「言葉にならない。とても驚いた。まさか打てるとは思わなかった」と興奮の様子だった。深尾優太君（1-1）は「負けていたのでとてもひやひやしていた。ホームランにはびっくりした。点が入るととてもうれしい。このまま

9回

逃げ切ってほしい」と期待を込めた。中山愛弓さん（2-7）は「高内君がホームランを打ったのを見て、さすがキャプテンだなと思った。一番理想的なキャプテンの姿だった」と笑顔で話した。福井愛生君（2-5）は8回を「逆転されたときはやばいと思ったけど、応援している僕たちが前向きにならないといけないと思った。高内君がホームランを打ったときは応援してよかったと思った」と振り返った。

吹奏楽部の飯田弥生さん（2-8）は「去年の夏はこの状況で彦根東が逆転したので少し心配だが、この調子で守ってほしい。まだまだ応援がしたいので、勝ち進んでほしい」と思いを述べた。チアリーダーの伊藤亜友加さん（1-2）は「1点差で勝っているのですが、このまま逃げ切ってほしい。このまま勝って終わってほしい」と緊張した面持ちで話した。本池篤先生は「このまま逃げ切ってほしい。最後まで落ち着いて頑張れ」と励まされた。